

国際関係学部

FACULTY GUIDEBOOK 2027

FACULTY OF INTERNATIONAL RELATIONS



- 経済学部
- 経営学部
- 法学部
- 現代社会学部
- 国際関係学部
- 外国語学部
- 文化学部
- 理学部
- 情報理工学部
- 生命科学部
- アントレプレナーシップ学環

国際関係学部事務室

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
TEL.075-705-3231
<https://www.kyoto-su.ac.jp/>



公式LINE
@k.s.u



国際関係学部Instagram
@kyotosangyo_ir_ksk



公式YouTube
@KyotoSangyoUniversity



京都産業大学
Webサイト

※本誌に登場する人物のプロフィールや教育内容、施設などの情報は取材時のものであり変更になる場合があります。

2026年3月発行



ABOUT

Faculty of International Relations

3つの視点で
国際社会の
諸問題を解決

地球温暖化、難民、グローバルな経済格差や貧困など、一国では解決できない問題が山積している今、国際情勢を客観的に認識・分析し、問題解決に向けて行動できる人材が求められています。国際関係学部では、政治・経済・共生の3つの視点を切り口に、こうした諸問題にアプローチし、課題を発見するとともに、さまざまな視点から解決策を考えていきます。1年次から「海外フィールド・リサーチ」(必修科目)という海外実習を行い、国境を越えて課題を調査。2年次以降は自分の関心に合わせたコース選択や、専門性を深化させる演習科目を通して、実践的な英語力と専門知識、そして未来を切り開く問題解決力を身に付けていきます。

詳細はWebへ



国際関係学部

国際関係学科

1年次に全員が「経験」する海外での現地調査、学内での活発な「リサーチ・議論」を学びの柱とし、政治・経済・共生などの学術的視点から、広範で複雑な国際問題に挑戦します。論理的思考力と情報分析力を駆使し「国際社会の発展と平和に寄与できるグローバル人材」を育成します。

国際関係・政治コース

国際関係・経済コース

国際関係・共生コース

MAP of Keywords

Pick Up

国際政治

国際的な政治、外交、法、安全保障などの専門分野について学修します。

国際経済

国際的な経済、ビジネス、開発援助などの専門分野について学修します。

共生

国際社会の文化、社会、民族、環境、宗教などの専門分野について学修します。

多彩なキーワードが示す、国際関係学部の学びの地図。多様な知識をむすび、新たな価値をうみだす学びは、あなたの可能性を広げ、未来への扉を開きます。さあ、ここから探究の旅に出かけましょう。





詳細はWebへ

FEATURES

国際関係学部の特長

国際社会の発展と平和に寄与できるグローバル人材を育成

Feature-1

世界の現場で学ぶ 海外実践型科目と 手厚い費用サポート



1年次の必修科目「海外フィールド・リサーチ」で海外のリアルを知り、2年次以降の選択科目「国際キャリア開発リサーチ」では、民間企業やNGOと連携し、海外でインターンシップや課題解決型研究を実施。実践経験により、グローバルに活躍できる力を身に付けます。

費用は大学が負担

学部が定める必修科目のため、個人がプログラム費用を負担する必要はありません。
※渡航中の保険費用や現地で自身が使用するものなどに関する費用は除く。

Feature-2

英語力×課題解決力。 少人数で鍛えるグローバルスキル

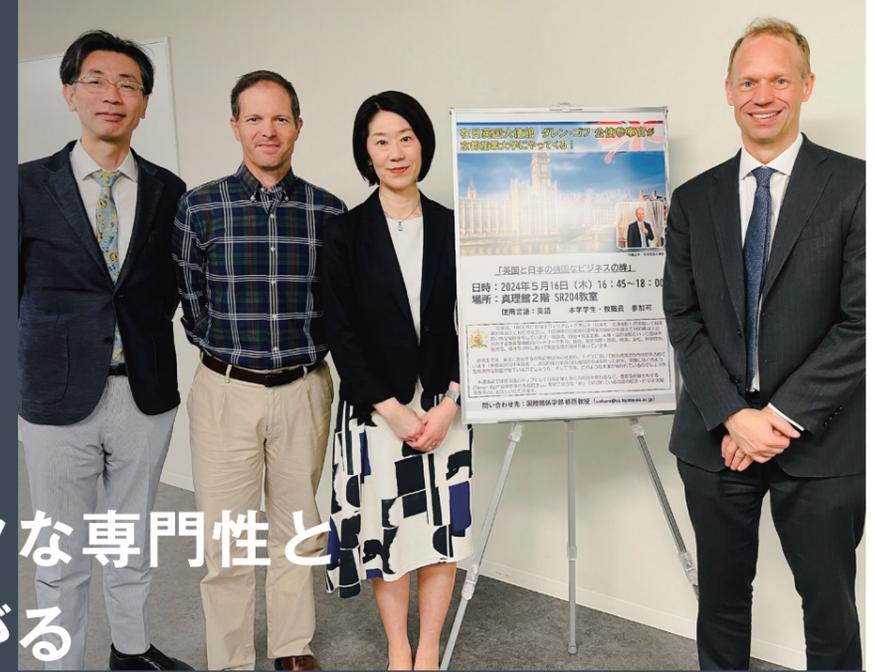


少人数のアクティブ・ラーニング型授業を通して、論理的分析力や協働力、発信力を磨きます。社会科学分野の専門教員が英語を使って講義する国際関係英語科目では、データ分析やディベート、プレゼンテーションといった実践的スキルを、全て英語で修得します。

社会科学分野で高い専門性を持つ教員が一丸となって、学生のチャレンジを最大限にサポートします。また、幅広いネットワークを生かして駐日大使や外務省・JICA職員、経営者など各界の実務者を講師に迎え、特別講義を実施。世界最前線の知識を実践的に学びます。

Feature-3

アカデミックな専門性と 世界とつながる 実践ネットワークを持つ教授陣



Feature-4

飛躍的な成長実感と 多様な進路選択



約98%の卒業生が「学部の学びに満足している」と回答するほど、高い満足度を実現。数多くの卒業生が、在学中に培った国際感覚や課題解決力を生かして多様なフィールドで活躍しています。国内はもちろん、海外の大学院進学を目指す学生も手厚くサポートします。

実践科目

詳細はWebへ

海外フィールド・リサーチ

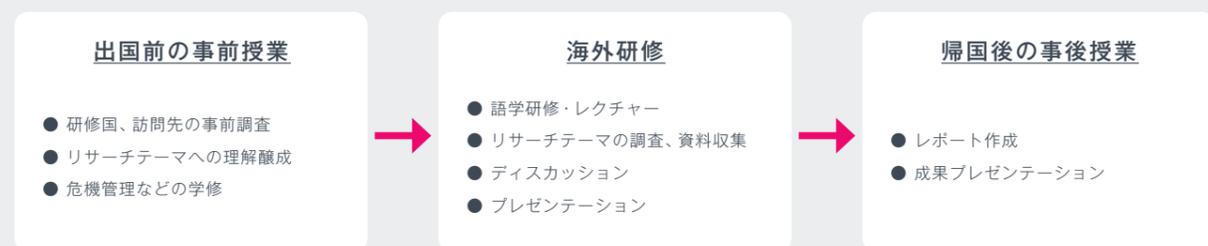


1年次末に全員が海外で約3週間のフィールド調査に参加。費用は大学が負担

国際関係学部の最も大きな特長とされる必修科目です。1年次末に英語圏・アジア圏の8カ国いずれかに約3週間滞在。各国のリサーチテーマに沿って学びを深めます。

● 海外フィールド・リサーチの流れ

研修の前後には講義を受け、事前の情報収集や分析、発表の手法なども身に付けます。

費用は
大学が負担

学部が定める必修科目のため、個人がプログラム費用を負担する必要はありません。

世界8カ国のいずれかに
3週間滞在してリサーチ

※渡航中の保険費用や現地で自身が使用するものなどに関する費用は除く。

※現地情勢によっては実施時期・方法が変更となる場合があります。

● リサーチテーマ

アメリカ 「アメリカのビジネス」 企業訪問や工場見学を通して、世界規模に展開するビジネスの最前線を探ります。	カナダ 「ボランティア・地域貢献」 ボランティア活動に実際に参加することで、地域住民の思いや企業の取り組みを学びます。	オーストラリア 「環境保護・多文化主義政策」 自然保護団体の講義や、先住民の方による体験型授業から多様な文化・環境保護について学びます。	ニュージーランド 「NZのサステナビリティ」 先進的な環境政策および社会包摂政策について体験型授業を通じてサステナビリティの最前線を探ります。
タイ 「日本とタイの経済関係」 現地の公的機関や日系企業などを見学し、日本とタイの経済関係やASEAN経済への理解を深めます。	マレーシア 「マレーシアの多様性と伝統」 現地の政府機関や企業、NGOを訪れ、マレーシア社会の多様性と伝統について見識を深めます。	ベトナム 「ベトナム経済と社会」 現地企業や日系企業を訪問し、調査を実施。ベトナムの産業の特徴や最近の傾向などを学びます。	インドネシア 「インドネシアの伝統と現代社会」 ロンボク島の伝統と現代的なライフスタイルがどのように共存しているかを体感しながら、インドネシアの経済発展における伝統と現代社会の共存について学びます。



多民族共生社会を体感し、真の多様性を学ぶ

前田 健介 国際関係学科 4年次（奈良県・天理高等学校出身）

多民族国家のマレーシアに3週間滞在し、宗教や文化など幅広いテーマでマレーシア社会の多様性と伝統を調査しました。現地の大学やモスクでイスラム教について調べ、日本との宗教観の違いを体感したのが強く印象に残っています。タイでは現地の子どもとサッカーを通して交流。ボール1つで仲良くなれたことで、人種や言葉の壁を越えて理解し合うヒントを得られました。多彩な経験により行動力が格段に向上したと実感しています。

実践科目

詳細はWebへ

国際キャリア開発リサーチ



海外で活動する企業、NGOでインターンシップや研究を体験

国際関係の理論やスキルなどの専門的な学びを土台に「課題解決型研究」に取り組み、課題解決能力、情報発信能力、他者との協働をするために必要な調整能力などを養います。



● 目的と概要

国際キャリア開発リサーチA カンボジアで 食品販売ビジネスの起業体験 約2週間、現地で過ごすインターンシップ型の海外起業体験プログラムです。	国際キャリア開発リサーチB 日本のNGOによる 民間国際協力の手法を学ぶ マレーシア・ペナン州での現地課題を発見し、その解決策を探る実習です。	国際キャリア開発リサーチC 日本企業の東南アジア展開や バラオの政府機関で現場を体験 マレーシアでの日本企業の海外ビジネス展開に触れる課題解決型のプログラムとバラオ大統領府や観光局、政府機関などでのインターンシップの2つのプログラムがあります。
--	---	--

※現地情勢によっては実施時期・方法が変更となる場合があります。



マレーシアでビジネスの現場体験 国際関係の学びを生かして課題解決に挑む

松宮 来瞳 国際関係学科 4年次（東大阪市立日新高等学校出身）

マレーシアの鶏卵選別包装システム開発メーカー現地法人で、就業体験を行い、英語を使ってビジネスを体験しました。企業課題「世界シェアNo.1に向けて日本・中国・マレーシア工場をどう活用するか」に対し、インドへの輸出拡大と輸出ハブ化を段階的に進める戦略を提案。現地での気付きと授業で学んだインド市場の知識をむすびつけた提案は企業から高評価を得ました。大学での学びが成長につながることを実感しました。



詳細はWebへ

4-YEAR STUDIES

世界情勢を理解し、国際社会の発展と平和に寄与できるグローバル人材を育成。4つの科目体系「国際関係英語科目」「基礎／発展科目」「演習科目」「実践科目」が有機的に連携したカリキュラムを展開しています。

4年間の流れ 1年次は全員が海外へ

想定される進路

- 製造業（メーカー）
- 流通・輸送業
- 金融業
- IT・情報通信業
- 商社
- コンサルティング・広告業
- サービス・インフラ業
- 公務員
- など

1st YEAR [1年次]

学びの基礎を築き、
全員が海外へ

基礎科目 国際関係における政治・経済・共生の3領域の基礎的知識を修得します。2年次からのコース選択により、さらなる学びを深めます。

- 国際政治入門
- 国際経済入門
- 国際社会入門
- フィールド調査とデータ活用入門

コース選択

国際関係英語科目

国際関係学の学びに必要な英語力を養います。国際関係学の理論的な枠組みや概念を英語で学び、理解を深めます。

- Issues in International Relations I A～II B

演習科目

少人数のアクティブ・ラーニング型授業で、専門知識を深めます。

- 基礎演習 I / II

実践科目

修得したスキルと知識を海外研修先で実践。体験・調査を通じて、課題解決能力、情報発信能力、協働に必要な調整能力を養います。

海外フィールド・リサーチ

2nd YEAR [2年次]

各自の関心や将来の進路に合わせて、
コースを選択

発展科目 政治・経済・共生の3コースで専門知識を体系的に学修。国際社会で生じる諸問題の解決策を提起できる専門的知見を身に付けます。

主な履修科目

- 国際関係・政治コース** ●国際政治学 ●外交論 ●国際機構論 ●国際人権論 ●安全保障論 ●平和構築論
- 国際関係・経済コース** ●国際経済論 ●国際貿易論 ●国際資源エネルギー論 ●国際金融論 ●国際ビジネス論
- 国際関係・共生コース** ●国際社会学 ●国際文化論 ●国際ジェンダー論 ●国際環境論 ●グローバル・ガバナンス論
- 地域研究科目** ●北米論 ●ロシア・東欧論 ●南アジア論 ●中東論 ●ヨーロッパ論 ●東アジア論 ●東南アジア論 ●アフリカ論 ●オセアニア論

- Issues in International Relations III A～IV B

- 発展演習 I / II

- 国際キャリア開発リサーチ A / B

3rd YEAR [3年次]

専門テーマの研究を開始。
自身の体験を深める学びも

- Japan's International Relations
- International Environmental Politics
- Development Studies
- East Asian International Political Economy
- International Communication Analysis
- Human Security
- Contemporary Asia
- Modern Japanese History

- Issues in International Relations V / VI

ゼミナール選択

- 研究演習 I / II

- 国際キャリア開発リサーチ C

4th YEAR [4年次]

学びの集大成として
研究成果をまとめる

こんな人におすすめ

- 国家・地方公務員が担う、外交、安全保障、国際交流などの公務に関心がある人
- 国際公務員に必要な高度な専門性を修得するために大学院進学を志望する人
- 外資系企業や海外展開する日本企業の海外事業部・営業部での活躍を目指す人
- 金融機関で外為業務、国際融資、M&Aなどの国際業務に携わりたい人
- 開発援助や国際協力事業、国際文化交流、人材育成、留学関連事業、移民・難民支援などに関心がある人。公的機関やNGO・NPO、民間企業を目指す人

- 研究演習 III / IV

Topic

世界の最前線を知る（ゲストスピーカーによる講演）

国際関係学部の授業では、外交、ビジネス、国際協力の現場で活躍する実務家を招き、世界の最前線の知識や実情を学びます。

過去の実績抜粋（順不同）

- 駐日英国大使館 ダレン・ゴフ公使参事官 「英国と日本の強固なビジネスの絆」
- 駐日ポーランド共和国大使館 パヴェウ・ミレフスキ大使 「Strong bonds between Poland and Japan - from History and Business perspectives -」
- マルタ共和国遺産局のミッション団 「Connecting to the MALTA World~Great historical heritage and Hidden story with Japan~」
- 外務省 北米第一課 松前 秀昭課長補佐 「現代アメリカと日米関係」
- 前 国連開発計画 (UNDP) 駐日代表 近藤 哲生氏 「平和と持続可能な開発の相互関係 進化する国連の使命」
- 国際協力機構 (JICA) パラオ事務所 伊藤 藍子氏 「今から始める海外キャリア展開」
- 国際協力機構 (JICA) 緒方貞子平和開発研究所 榎谷 恒孝氏 「国際協力の理想と現実」



- 陸上自衛隊 1等陸佐第8高射特科群長兼青野原駐屯地司令 栗田 千寿氏 「女性・平和・安全保障」
- 斗六屋 / 種業 代表取締役 近藤 健史氏 「京都SHUKAの商品を訪日外国人観光客に売り込め！」
- 人道支援コンサルタント 柴田 裕子氏 「緊急人道支援とは：その仕組みと今」
- 広島原爆の語り部・国際養子縁組活動家 近藤 絢子氏 「戦後79年のヒロシマからのメッセージー心に平和」
- アフリカ政治経済の専門家 モハメド・オマル・アブディン博士 「政治に尾行され続ける人生：開発途上国の人々はなぜ政治の話が好きなのか？」
- 株式会社日建 代表取締役社長 雨宮 誠氏 「地雷のない世界を目指してモノづくりを通じた国際貢献」

Topic

世界の出来事を教員が解説！（教員によるNews解説）

国内外で生じる対立と協調、移民をめぐる問題や地球環境問題など、今、世界で起こっている出来事をテーマに、教員がリレー形式で実施するNews解説。教員それぞれの専門分野や研究に基づいた詳しい記事が、月に2回Webサイト上に掲載されます。また昼休みの時間を利用して教員による解説や学生同士のディスカッションを行う「ワークショップ」も開催されます。誰でも参加できるカジュアルな学びの場です。

ワークショップ実例

- 憎しみを乗り越えて一紛争後の和解の在り方
- トランプショックー社会や経済への影響ー

Webサイト掲載（教員によるNews解説！）（順不同）

- ジェンダー平等の進む台湾
- 軍事的緊張を高めるロシアとNATO
- 政治家スピーチにみる「言葉」の重要性



- 内戦終結から15年を迎えたスリランカから考えるガザ・イスラエル戦争
- 欧州における極右勢力の躍進と移民政策の機能不全
- 急接近するロシアと北朝鮮
- 環境問題と平和構築



詳細はWebへ



Topic : 持続可能性をめぐる グローバル・ガバナンスの研究

Outline :
地球規模の課題に対して、国連や国、企業、NGOなどが協調して対処する仕組みを「グローバル・ガバナンス」と呼びます。このゼミナールでは、「長年にわたり豊かさを享受できる持続可能な社会をいかに構築するか」という問いに対して、環境、経済、社会の3つの側面からグローバル・ガバナンスの視点で考察します。ゼミナール活動では、新聞記事などの素材をもとに、学生が20分間のプレゼンテーションを行います。そして発表後は、グループディスカッション、さらにクラス全体での議論を展開し、対話的な学びを通して、問題解決の糸口となる視点やアイデアを獲得していきます。学びを実社会とつなげる取り組みとして、他大学との合同ゼミ、国連職員やNGO職員を招いたワークショップも開催しています。問題への意識や多角的な思考力をはぐくむことは、将来どのような社会的役割を担う場合にも大いに役立つはず。



井口 正彦 教授
国際関係学科
専門分野：グローバル・ガバナンス論、
地球環境政治学

Profile :
イギリスの大学を卒業後、国連大学勤務を経て京都産業大学へ。今、私たちが享受している豊かさが、将来は当たり前のものでなくなるという危機感を持ち、今自分にできることを一生懸命にやることが研究の原動力。



Topic : 日本を取り巻く国際環境の 平和と安定をいかに確保するか

Outline :
国際関係における日本の安全保障がゼミナールの研究テーマです。日米同盟や自衛隊のあり方など共通テーマについて学びつつ、各自が興味のあるテーマを選んで調査・考察を行います。さらにその成果を10分程度のプレゼンテーションにまとめ、ゼミナール全体で議論します。スパイ問題や日本のアニメ文化の国際的な影響など、学生自らが選んだ幅広い研究テーマに対して、世界と日本の関係性という視点に立ち、我が国の安心・安全を守るための条件を見いだしていくのが特長です。「教室は思考の実験の場」という考えを土台とし、学生が積極的に発言して教師がサポートする、アクティブラーニングをゼミナール活動の基本姿勢としています。各人が積極的に発言できるよう、質疑応答では環境や経済、政治など世界の幅広い出来事に関心を持って興味のある事柄を自主的に調べ、考える姿勢を大切にしています。



河原地 英武 教授
国際関係学科
専門分野：ロシア政治、安全保障問題、
国際関係論

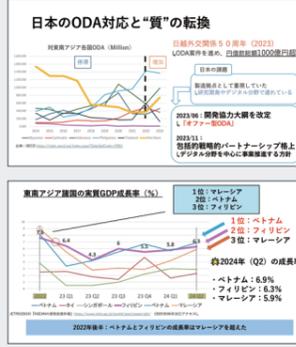
Profile :
長野県松本市に生まれ、豊かな自然環境の中で育つ。学生時代はロシア語を第一外国語として学び、英語以外にも1つ得意な言語を持つことは、自分の世界を広げるうえで有用と考える。現在は俳句にも打ち込む。

SEMINAR

ゼミナール紹介

Topic : 政治・経済・社会問題の分析を通じて 東南アジア諸国の多様性を理解する

Outline :
東南アジアの政治経済の分析を中心に地域研究に取り組んでいます。3年次に取り組むグループ研究を通して研究の進め方を実践的に学び、そこで得た問題意識や知見、それまでの学部での学びなどに基づいて卒業研究を進めるのがこのゼミナールの特長です。こうした研究活動を通して、自分自身の強みを見つけ、関心の方向性を探っていくことは、就職活動での自己分析や「ガクチカ」にも生かすことができます。研究に取り組む直接的な動機付けに役立ち、学びに対するモチベーションアップにもつながります。文献調査、統計データ分析などに加えて、今後は、コロナウイルス感染症などにより制約があった現地でのフィールドワークも積極的に取り入れる予定です。同学年はもちろん学年の壁を超えて学生同士の仲が良いのも特長で、定期的な合同懇親会の開催や学園祭(神山祭)での模擬店出店などを通して交流を深めています。



Topic : 身近な視点から東アジアを知る

Outline :
このゼミナールでは、東アジアを舞台に、政治や経済、文化、社会など幅広いテーマから自分の関心に基づいて研究を深められます。実際に学生たちは、K-POPが世界に与える影響を分析したり、日中韓の食品ロスと比較したり、映画「パラサイト」を題材に韓国の格差社会を考察したりと、さまざまな切り口でアプローチしています。また、フィールドワークも重視。神戸・横浜の資料館や中華街を訪れ、移民の歴史や共生の在り方について肌で感じながら学修します。さらに、他大学の学生や海外からの留学生と交流する機会も。ワークショップやディスカッションを行う中で、さまざまな視点や価値観に触れることができます。こうした実践的かつ多彩な学びを通して、物事を複数の観点から考察する力や多様な価値観を尊重する姿勢が自然と養われます。まさに、国際社会で活躍するための土台を築くことができるゼミナールです。



吉川 敬介 教授
国際関係学科
専門分野：開発経済論、ASEAN 経済、地域研究
(カンボジア)

Profile :
本学創設者・荒木俊馬先生と同郷の熊本県出身。こよなく愛す酒と肴を堪能すべく、豊かな京都の四季の情景を楽しみながら、ジョギングや散歩を行うのが日課。ファミコン世代で家庭用ゲームは今も大切な趣味の1つ。



須藤 瑞代 准教授
国際関係学科
専門分野：中国近現代史、東アジア
国際関係論

Profile :
大学院時代に約1年、台湾の台北に滞在。その後の共同研究やシンポジウムなどでたびたび訪れ、台北は今や第二の故郷。現在の研究テーマは近代の日中関係とジェンダー。未来につながる手がかりを研究中。

SEMINAR & FACULTY



ゼミナール&教員DATA 2026年3月現在

持続可能性をめぐるグローバル・ガバナンスの研究

井口 正彦 教授
専門分野: グローバル・ガバナンス論、地球環境政治学

国際ビジネスの複眼的アプローチ

植原 行洋 教授
専門分野: 国際ビジネス、欧州経済・産業、中小企業の海外展開

国際社会を生き抜くコミュニケーションとは: 制度的会話分析の観点から

川島 理恵 教授
専門分野: 異文化コミュニケーション、医療社会学、会話分析

日本の安全保障政策

河原地 英武 教授
専門分野: ロシア政治、安全保障問題、国際関係論

平和構築・紛争解決・人間の安全保障

クロス 京子 教授
専門分野: 平和構築、紛争解決学、人間の安全保障、移行期正義

国際社会における対立と共存

正鉢 朝香 教授
専門分野: 国際関係論、国際文化論、ヨーロッパ国際政治

グローバル経済への国際関係論的アプローチ

鈴木 清巳 教授
専門分野: 国際経済論、EU経済、地域統合

Building Development

ストレフォード バトリック ウィリアム 教授
専門分野: 国際開発論

国際関係の中の東アジア: 現状と課題

須藤 瑞代 准教授
専門分野: 中国近現代史、東アジア国際関係論

アメリカの政治外交と日米関係の歴史

高原 秀介 教授
専門分野: アメリカ外交史、日米関係史、アメリカ=東アジア関係史

メディア・国家・社会

千葉 悠志 准教授
専門分野: 中東地域研究、メディア研究、国際関係論

地球文化で結ばれる国際社会

マコーマック ノア ヨシナガ 教授
専門分野: 歴史社会学、比較文化論

グローバル協働・未来学

三田 貴 教授
専門分野: 政治学(未来学)、オセアニア地域研究、国際協力論、共生社会

公正な社会とはどのような社会か

山本 和也 教授
専門分野: 社会科学基礎論、政策科学、国際関係論

グローバルな社会課題解決につながる貿易・経営の動向

横山 史生 教授
専門分野: 国際金融論、証券市場論

東南アジア諸国の政治経済と地域研究

吉川 敬介 教授
専門分野: 開発経済論、ASEAN経済、地域研究(カンボジア)

国際法模擬裁判

吉田 暁永 助教
専門分野: 国際法、国際人権法

[2026年4月開講予定]

国際政治学から見た世界

ノハラ ジュン ジュリアン 准教授
専門分野: 国際関係論、国際安全保障(シーパワー)



GRADUATE'S INTERVIEW

卒業生紹介

・ INTERVIEW ・

フジテック株式会社 勤務

中島 宏太 さん

国際関係学科 2023年卒業

Q. 現在の業務内容について教えてください。

グローバル市場でのエレベーター販売を拡大すべく、代理店への営業を担当しています。現地の方々と英語でやり取りしながら、見積もり業務からセールス、アフターサービスまでを管理しています。先日はモンゴルを訪問して英語でプレゼンテーションを行い、大型プロジェクトの受注に貢献できました。

Q. 現在のお仕事に生かされている

大学での学びは？

海外フィールド・リサーチでは約3週間カナダの大学で研究を行い、専門的な内容を英語で議論するスキルを磨きました。また、ゼミナールでは会話分析により、外国人との円滑な会話手法を研究。これらの学びを生かすことで、モンゴルの方々と信頼関係を築き、スムーズにビジネスを進められています。

学生時代の思い出



海外フィールド・リサーチではホームステイも経験し、文化や価値観の違いを肌で感じることができました。その中で培った多様性への理解力と対応力は、就職活動でも大きなアピールポイントになりました。

卒業生

ゼミナールの会話分析
で得た知見を武器に
海外市場を切り開く



詳細はWebへ

FACULTY OF INTERNATIONAL RELATIONS

京都産業大学

FACULTY OF INTERNATIONAL RELATIONS

国際関係学部

CAREERS

キャリア
サポート

文部科学省に最優秀賞と認められたキャリア実習をはじめ、入学直後から卒業まで多彩なキャリア形成支援プログラムを展開。低年次から自分のキャリアを描く機会を設け、社会で生き抜く力を育てます。就職活動では、約40人の専任スタッフが年間約12,000回の個別面談を実施するなど、きめ細かにサポート。こうして培われる資質や能力は、卒業生が就職した企業や社会からも高く評価されています。

就職率〈国際関係学部〉

99.4%

2024年度実績

大学院進学先

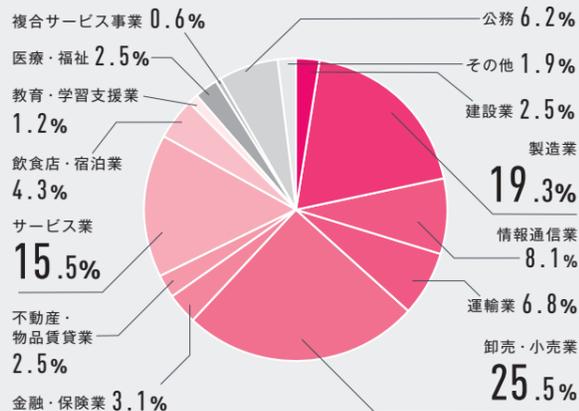
マッコーリー大学大学院（オーストラリア）、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンス（イギリス）、アイスランド大学大学院（アイスランド）、ヘルシンキ大学大学院（フィンランド）、マンチェスター大学大学院（イギリス）、レスター大学大学院（イギリス）、韓国学中央研究院韓国学大学院（韓国）、東京大学大学院、神戸大学大学院 など

※過年度実績を含む

取得を推奨している資格

- TOEIC®
- TOEFL iBT®
- IELTS™

就職先 業種割合



2024年度実績

※就職先業種割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

就職先一例 (50音順)

アサヒビール	ジェイテクト	日本郵政グループ	丸全昭和運輸	六甲バター
イシダ	積水ハウス	バンダイナムコミュージックメント	山崎製パン	わかさ生活
エイチ・アイ・エス	タカラスタンダード	富士通	山善	防衛省 海上自衛隊
ANA 関西空港	椿本チエイン	ボストン・サイエンティフィック	淀川製鋼所	大阪府警察本部
MD ロジス	日産自動車	ジャパン	りそな銀行	京都府庁
クリナップ	日本マクドナルド	マキタ	良品計画	滋賀県庁

学部トピックス

海外の大学院への進学を手厚くサポート

将来の進路として海外の大学院への進学を志す学生を対象とした「海外大学院進学希望者向け説明会」を開催しています。海外大学院を修了した卒業生などを招へいし、進学を目指したきっかけや必要になる英語力、学費や奨学金の活用などについて詳しくアドバイスしてもらっています。また、海外だけでなく、国内の大学院への進学もサポートしており、大学院を含めたキャリア構築を支援しています。



世界の現状に
触れた経験が
進路決定につながった

内定者

三菱商事
ロジスティクス株式会社 内定

古川 園夏

国際関係学科 4年次（東京都立国分寺高等学校出身）

Q. 就職活動で困ったことはありますか？

フランス留学からの帰国直後の就職活動開始で何から始めれば良いのか分からず、どのような業界が私の目標に適しているのかなど、ゼミナールの先生に指導していただきました。進路・就職支援センターでのエントリーシート添削や企業への対応の仕方などに関するアドバイスも、本当に役立ちました。

Q. 貿易に興味を持ったきっかけや内定先企業を選んだ理由を教えてください。

「グローバル・ガバナンス」という授業で、持続可能な世界のためにビジネスが役立つことを学び、貿易に興味を持ちました。海外と関わることができる仕事、仕事を通して国の発展に貢献できる仕事ができる企業を条件に就職活動を行い、長く勤務できる環境が整った内定先に決めました。

学生時代の思い出



2年次の夏休みに、環境を守る活動に参加する学部のプログラムでマレーシアに行きました。現地に2週間滞在して、マングロープの植林を続けていたNGOのメンバーと一緒に活動に取り組みました。

INTERVIEW

積水ハウス株式会社 内定

藤本 雅也

国際関係学科 4年次（大阪府・上宮高等学校出身）

Q. 就職面接に役立った大学のサポートは？

進路・就職支援センターで自己分析の方法からエントリーシートの書き方まで丁寧に教わり、面接対策も熱心に行っていただきました。会話分析の専門家であるゼミナールの先生からも、面接に向け声のトーンや表情の使い方などを教わりました。その結果、面接官から褒めていただけるほどの対応ができました。

Q. 就職先で生きたい大学での学びや修得したスキルは？

カナダでの約3週間の海外フィールド・リサーチでは、貧困問題について現地調査を行いました。ダルハウジー大学の講義や英語でのインタビューなどを通して、語学力や多様性の受容力を磨くことができました。この経験と学びを武器に、多様な背景を持つお客様に寄り添い、信頼関係を築いていきたいと考えています。

学生時代の思い出



ゼミナールでディーラーを訪問し、自動車営業の風景を撮影。そのデータをもとに会話分析を行い、営業場面での会話の特徴を研究しました。解明した会話術を自身の営業トークでも生かしたいです。

内定者

ゼミナール活動での研究を生かし
多彩なお客様に寄り添う
営業担当者を目指す

